



"Happiness Helps Healing"

- ・ごあいさつ
- ・2015年12月～2016年2月の活動報告
- ・2015年12月～2016年2月トピックス
- ・「在宅訪問事業」準備開始のご報告
- ・参加者から頂いた感想紹介
- ・第2回紙上作品展
- ・活動を通して思うこと～
アナウンサー/絵本セラピスト近藤麻智子
シンガーソングライター 石橋和子
慶應病院アシスタント 白尾美枝子
- ・SHJ マップ
- ・団体概要アップデート
- ・今後の予定



静岡県立子ども病院にて
音楽会

ごあいさつ

「Happiness Helps Healing=楽しむことは回復を助ける」というスマイリングホスピタルジャパンの理念が医療現場で受け入れられ、そのニーズの高まりにより、ここ数ヶ月で月間の活動数平均24回、同参加者数平均延べ500名を超えました。しかし、大切なことは変わらず、一つひとつの活動を大切に、一人ひとりの子どもに寄り添いそして子どもたちから学んでいくことです。地道に取り組みながら質の向上に努めることで、より求められるボランティア活動となります。昨年10月より、活動後に各アーティストとコーディネーター/アシスタントが活動報告書を作成して記録し、振り返りと今後の課題を見つめる機会としています。心に残ったこと、ヒヤッとしたこと等々、文字にすることで活動内容を整理し見直すことができます。回数を重ねながら成長していくための意義あるひと手間です。それぞれに活動者の子どもたちへの温かい眼差しが感じられ、次回に生かそうという心意気が溢れています。

今月末には初めて全国のSHJメンバーが一堂に会し、「第1回研修&交流会」を行います。病児を取り巻く現状と医療現場でボランティア活動するために知っておくべきことを学びます。また、普段交流できないアーティスト、コーディネーター、アシスタント、事務局スタッフ同士が情報・意見交換しながら改めて使命を共有する機会とします。今後1年～2年に1度の頻度で開催し、メンバーの資質の向上を目指し、一丸となって闘病中の子どもたちを支えていきます。

ニュースレターも季刊となり丸2年となりました。SHJの今とこれからをわかりやすくお伝えできているだろうか、と毎回反省しながらの発行ですが、引き続きお付き合いくださいますようお願いいたします。

スマイリングホスピタルジャパンスタッフ一同



東大病院にて
版画ワークショップ



●2015年12月～2016年2月の活動報告

	活動実施日	活動場所	活動内容	担当	参加人数
1	12/2 (水)	神奈川県立こども医療センター 5西病棟	巨大アートに挑戦!	Ouma	1
2	12/2 (水)	東大病院 北南小児病棟	モンスターになろう!	佐々木優子	13
3	12/2 (水)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽会	豊 雅子	9
4	12/7 (月)	日赤医療センター 小児病棟	親子でボサノバ!	Satoko & Friends	54
5	12/7 (月)	千葉県こども病院	ピアノ・ボーカルリサイタル &音楽あそび	矢田美麗	30
6	12/8 (火)	慶応病院 6E小児病棟	ちぎり絵ワークショップ	Laki Ohana	10
7	12/9 (水)	京都大学病院 小児病棟	コミックジャグリング	たつきゆうさん	30
8	12/9 (水)	北海道立子ども総合医療・療育センター	三味線演奏会	佐久間信語	35
9	12/1 (金)	神奈川県立こども医療センター ハイケア2病棟	手がたスタンプアート	ぴいすけ	19
10	12/14 (月)	日赤医療センター 小児病棟	漫画似顔絵ポートレート	室園久美	21
11	12/14 (月)	大阪私立総合医療センター小児病棟	リズム遊び	大橋翔 西純江	7
12	12/15 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽会	豊 雅子	15
13	12/16 (水)	神奈川県立こども医療センター 5西病棟	思いっきり歌おう!	ゆうこ&しょうた	15
14	12/16 (水)	東大病院 北南小児病棟	親子でボサノバ!	Satoko & Friends	80
15	12/16 (水)	京都大学病院 小児病棟	音楽会	豊 雅子	11
16	12/17 (木)	慶応病院 5S小児病棟	手がたスタンプアート	ぴいすけ	17
17	12/18 (金)	北海道大学病院	クリスマスコンサート	米澤倫子 松本ゆかり	7
18	12/21 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ピアノ・ボーカルリサイタル &なんでもリクエスト	眞理さん	40
19	12/21 (月)	日赤医療センター 付属乳児院	ピアノ・ボーカルリサイタル &なんでもリクエスト	眞理さん	62
20	12/24 (火)	石巻赤十字病院	クリスマスコンサート	もっきんばーど	8
21	12/25 (金)	神奈川県立こども医療センター こころの病棟	塗り絵&貼り絵& クリスマスカード作り	真鍋麻里	8
22	12/25 (金)	大阪私立総合医療センター小児病棟	コメディ大道芸	大ドジ芸人あぎーす・ のず	29
23	12/28 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ピアノ・ボーカルリサイタル &なんでもリクエスト	眞理さん	31
24	1/6 (水)	神奈川県立こども医療センター 5西病棟	二胡演奏でお正月	近藤多英子	13
25	1/6 (水)	東大病院 北南小児病棟	版画ワークショップ	ツツミエミコ	17
26	1/6 (水)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽会	豊雅子	8
27	1/8 (金)	神奈川県立こども医療センター肢体不 自由児施設保育室	読み聞かせの会	平沢ゆかり	5
28	1/12 (火)	慶応病院 6E小児病棟	似顔絵クロッキー	水野ぶりん	10
29	1/13 (水)	大阪市立総合医療センター小児病棟	音楽会	豊雅子	16
30	1/15 (金)	北海道大学病院	工作と音楽で節分!	山本道江 米澤倫子	6
31	1/18 (月)	日赤医療センター 小児病棟	歌のお兄さんお姉さんと 遊ぼう	ゆうこ&しょうた	37
32	1/18 (月)	日赤医療センター 付属乳児院	歌のお兄さんお姉さんと 遊ぼう	ゆうこ&しょうた	30
33	1/19 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	豊雅子	15
34	1/20 (水)	神奈川県立こども医療センター 5西病棟	英語であそぼう&英語でマ ジック	クラウディ	14
35	1/20 (水)	東大病院 北南小児病棟	マジック・ジャグリング& バルーン	NIKONIKO 大使ガイ	41



	活動実施日	活動場所	活動内容	担当	参加人数
36	1/20 (水)	京都大学病院 小児病棟	即興劇に挑戦!	カクテルホイップ	7
37	1/21 (木)	慶応病院 5S小児病棟	モンスターになろう!	佐々木優子	10
38	1/21 (木)	大阪市立総合医療センターすみれ7病棟	コミックジャグリング	ジャグラーGT	19
39	1/22 (金)	大阪市立総合医療センターさくら7病棟	コミックジャグリング	ジャグラーGT	23
40	1/22 (金)	神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設	歌のお兄さんお姉さんと遊ぼう	ゆうこ&しょうた	15
41	1/25 (月)	日赤医療センター 小児病棟	版画ワークショップ	ツツミエミコ	11
42	1/25 (月)	静岡県立子ども病院	紙芝居&絵本語り	松島季実代	23
43	1/25 (月)	大阪市立総合医療センター小児病棟	コメディ大道芸	大ドジ芸人あざーす・のず	12
44	1/26 (火)	宮城県立こども病院	クラフトワークショップ	清水千佳	40
45	2/1 (月)	日赤医療センター 小児病棟	版画ワークショップ	ツツミエミコ	8
46	2/2 (火)	大阪市立総合医療センター さくら7病棟	即興演劇を楽しもう	カクテルホイップ	17
47	2/2 (火)	大阪市立総合医療センター すみれ7病棟	即興演劇を楽しもう	カクテルホイップ	17
48	2/3 (水)	神奈川県立こども医療センター5西病棟	英語であそぼう&英語でマジック	クラウディ	12
49	2/3 (水)	東京大学病院 小児北南病棟	塗り絵&貼り絵の会	真鍋麻里	19
50	2/3 (水)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽会	豊雅子	10
51	2/5 (金)	大阪市立総合医療センター さくら6病棟	即興演劇を楽しもう	カクテルホイップ	13
52	2/5 (金)	大阪市立総合医療センター すみれ6病棟	即興演劇を楽しもう	カクテルホイップ	11
53	2/8 (月)	日赤医療センター 小児病棟	マジック バルーン & ジャグリング	NIOKNIKO 大使ガイ	41
54	2/8 (月)	大阪市立総合医療センター さくら7病棟	コメディ大道芸	大ドジ芸人あざーす・のず	22
55	2/8 (月)	大阪市立総合医療センター すみれ7病棟	音楽会	豊雅子	16
56	2/9 (火)	慶応病院 6E小児病棟	版画ワークショップ	ツツミエミコ	8
57	2/9 (火)	大阪市立総合医療センター すみれ6病棟	コミックジャグリング	ジャグラーGT	12
58	2/12 (金)	神奈川県立こども医療センター4東病棟	手遊び 読み聞かせ	平沢ゆかり 富田康代	10
59	2/15 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ピアノ・ボーカルリサイタル&なんでもリクエスト	眞理さん	25
60	2/15 (月)	日赤医療センター 附属乳児院	ピアノ・ボーカルリサイタル&なんでもリクエスト	眞理さん	45
61	2/17 (水)	神奈川県立こども医療センター5西病棟	塗り絵&貼り絵の会	真鍋麻里	7
62	2/17 (水)	東大病院 小児北南病棟	ちぎり絵ワークショップ	Laki Ohana	16
63	2/17 (水)	京都大学病院 小児病棟	コミックジャグリング	たつきゆうさん	12
64	2/18 (木)	慶応病院 5S小児病棟	ことばと音の読み聞かせ	トッテカルーソ	20
65	2/19 (金)	北海道大学病院 小児病棟	三味線演奏会	佐久間信語	7
66	2/22 (月)	日赤医療センター 小児病棟	英語であそぼう&英語でマジック	クラウディ	20
67	2/23 (火)	療育室つばさ	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	60
68	2/23 (火)	宮城県立こども病院	いろんな楽器で楽しもう!	もっきんばーど	17
69	2/23 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	金愛利	13



活動実施日	活動場所	活動内容	担当	参加人数
2/26 (金)	神奈川県立こども医療センター 4 南病棟	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	60
2/29 (月)	静岡県立こども病院	キットパスでお絵描き	海野絵利奈	22

*2015年12月1日~2016年2月29日(3か月間) 合計活動数 71回 合計参加者数 延べ1464人

●トピックス

- 12月 3日 東京新聞にて SHJ が紹介されました。
- 12月 12日 在日イタリア商工会議所の支援先として寄付を受けました。
- 2月 2日 FIT チャリティ・ラン 2015 寄付金贈呈式に出席しました。
- 2月 18日 オルタナ「CSR 部員塾」にて SHJ 紹介プレゼンテーションを行いました。
- 2月 19日 久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部の支援先団体として寄付金贈呈式に出席しました。



●在宅訪問事業開始に向けて在宅部門が始動しました!

SHJ の事業の一つに「在宅訪問」がありますが、これまで病棟訪問を柱に、そしてその充実に焦点を当てて活動してきたため、必要性があるにもかかわらずなかなか着手できませんでした。しかし、個人、企業からの支援の輪が広がったことと、担当スタッフの熱い意欲が重なり、「退院後在宅を余儀なくされた子どもたち、または重い障がいのために活動の場のない子どもたち」への取り組みを開始するに至りました。大きな原動力となったのは、担当者自身、子どもが退院後在宅医療を受けた際、小児在宅医療を専門とする機関の少なさに驚き、大変苦勞をした経験を持つ、または障がいのため特別支援学校入学までは外出もままならず活動が極端に制限されていた当事者である、ということです。この活動がどれほど必要であるかをいちばんよく知っているスタッフが主導していくことで、開始までは厳しい道のりかもしれませんが、必ず軌道に乗せてまいります。

■退院後在宅を余儀なくされている子どもとは
 治療が困難とされた場合、限られた時間を在宅にてできるだけ充実させる、という選択があります。対症療法で痛みを取り、したいことをする、楽しい時間を持つ。それが治療への励みや免疫力の向上にも寄与することになります。

■重い障がいのために在宅で医療的ケアを受ける子どもとは
 医療の進歩により多くの重い病気を持つ子どもを救命できるようになりましたが、急性期の治療が終了し退院した後も、在宅で人工呼吸管理、中心静脈栄養などの医療ケアを受けながら生活している子どもの数は増え続け、全国で約 20 万人と推計され、その負担は 24 時間 365 日続き、地域の中で孤立してしまうことも少なくありません。特に、就学前の医療的ケアの必要な子どもは保育園や幼稚園では受け入れが難しく、受け入れの可能な児童発達支援事業所も限りなく少ないのが現状です。



このような子どもたちが、芸術活動を通じた創造的で楽しく豊かな時間を繰り返し持つこと、そして医療者や両親以外の人とのコミュニケーションの機会を得ることには、社会と繋がるという意味でも大きな意義があります。ご家族にとっても豊かな気分転換の時間となるでしょう。訪問看護ステーション、病院の地域医療連携室などに協力していただきながら、進めてまいります。

●子どもたち、ご家族、現場スタッフの方々からの声を紹介します。



- 「音楽はすごく楽しかったです」「絵を描くのが楽しいです」「また同じことをやりたい」(子ども)
- 「医療者やスタッフでない人が病棟に入ることが、子どもたちは楽しいようです」(お母様)
- 「院内にいると親としか一緒に遊べないので、子どももとても喜んでいました」(お母様)
- 「とても癒されました。生歌、生演奏がとても良かったです」(お母様)
- 「声優さんの紙芝居は本格的で親も楽しめました」(お母様)
- 「楽しく参加させていただいています。一人ひとりを大切にとの思いが伝わります」(保育士)
- 「個室にも入っていただき、忙しい感じになりますが、いつも笑顔で子どもたちに接していただき、ありがとうございます」(保育士)
- 「子ども、家族参加型のイベントが皆さん楽しめていたようです」(看護師)
- 「今後も子どもたちのために、是非、続けていってください」(看護師)

今後も引き続き、紹介していきます。
 活動がどのように受け止められているのか、感想を聞きながら質の向上に努めます。

● 紙上作品展 Vol.7 に続き第2弾！

丸くなってワイワイ手仕事。気づけば好きな音楽やアイドルの話も・・・。アートを通して自然にコミュニケーション！



木槌をトントン叩いて版から作る版画、和紙など素材を大切にしたりちぎり絵やコラージュ、手のひらに思いっきり絵の具をつけて作る手がたスタンプアート、そして新聞紙で好きなものを形作るクラフトなど、本格的なアートがSHJの自慢。素材の感触を味わったり、ちぎったり破いたり叩いたり道具を使ったりして楽しめます。もの作りに没頭する時間は子どもたちの創造力や感性が光ります。手と一緒に口も動かしておしゃべりに花が咲く・・・これもまた、とびきり楽しいひとときです。活動に参加できなかった子どもたちには、材料を保育士さんに託します。夢中で作った作品は、大切にベッドサイドやプレイ



●活動を通して思うこと

SHJ アーティストとして活動して

絵本セラピスト アナウンサー 近藤麻智子

病院での絵本の読み語り活動を始めてから、まもなく5年になります。昨年SHJアーティストに加わり、入院中の子どもたちと絵本を繋ぐ場を新たに頂いて、感謝しています。毎回、ジャンルは様々、対象年齢も幅広く、色々な絵本を抱えて病院を訪問しています。目の前の子どもたちの様子を見ながら絵本を選んだり、子どもたちに読んでほしい絵本を選んでもらったり。病状やその時々体調に合わせて、臨機応変に対応できたらと思っています。時には、お子さんが眠りについたベッドの横で、ずっと付き添っていらっしゃるお母さんに向けて絵本を読むことも。



たくさんの出会い、たくさんの記憶に残る瞬間がある中で、今回は、私のおすすめの一冊をご紹介します。

「あっ！みーつけたっ！！」
作：くすのき しげのり
絵：大島 妙子
出版社：光村教育図書



「あっ！みーつけたっ！！」学校からの帰り道、ぼくは、ものすごいものを見つけた。それは、ライオンのような形をした石。「そうや、ええこと かんがえた！」ポケットに入れて持って帰って、色を塗ると……ほら、強そうなライオンやで。ぼくは毎日毎日見つけた石をポケットに入れて帰り、一生懸命色を塗った。なぜ「ぼく」は、石を拾い集めるのか？物語後半の意外な展開に、思わず引き込まれます。少年が石を使って作ったのは、小さな動物園。動物園に行きたがっていた入院中の妹を、喜ばせたかったのです……。

作者のくすのきしげのりさんは、あとがきでこう語っています。『この作品を、今、病気と闘っている世界中の子どもたちと家族の皆さん、そしてそれを支えるすべての方へおくります。』ご自身も大病を患い、入院生活を送った経験のあるくすのきさんが紡いだ物語。伝わってくるのは、家族を想う「優しさ」や「思いやり」、「愛情」、「絆」……。家族が病気になったからこそ改めて気づくことができた、目には見えない大切なものばかりが、心に染み入ります。大島妙子さんが描く優しさとユーモアあふれる絵にも、兄、妹、父、母という4人家族の心情が、繊細に表現されています。

あるとき病院で、小学3年生の女の子とお母さんと、この絵本と一緒に読むことができました。じっと耳を傾けてくれた女の子。読み終えて「きょうだいはいるの？」と聞いてみると、「うん！」と瞳を輝かせながら、嬉しそうに“お姉さん”のことを話してくれました。きっと仲よし姉妹なのでしょう。すぐそばで様子を見ていたお母さんも、ほっとしたように表情が和らぎ、私が病室を後にするときには「来週も来てくれますか？」と言って下さいました。2人の素敵な笑顔が、いまでも胸に残っています。

子どもたちの笑顔の灯は病院の中でも明るくあたたかく、その小さな灯は瞬く間に周囲に広がります。どこか張り詰めていた空気がぱちんと弾けたように、穏やかな空気へと変わるのを感じるのです。絵本を開くことが、子どもたちの感性や好奇心や想像力をくすぐり、少しでも心を開ききっかけになればと願いながら……。これからも入院中の子どもたちやご家族と、絵本を通して楽しいふれあいの時間を持つてたらと思っています。



SHJ アーティストとして活動して

シンガーソングライター 石橋和子

「ととろ」の「さんぼ」は、何処でも子供達に喜ばれる歌ですが、一度だけ、「その歌は嫌いだから歌いたくない。」と言われた事があります。肢体不自由で車椅子に乗った小学校1年生くらいの男の子なのですが、それまで大きな声で、明るく元気に話していただけに驚きました。おそらく彼は、「歩こう。歩こう。私は元気。歩くの大好き～」と続く歌詞の意味を、彼なりに深く受け止めているのだと気が付いて、ハッとしました。

生まれてから1度も自分の足で歩いた事のない彼には、辛い歌だったかもしれない。思いがけず彼を傷つけるところでした。でも今まで、本当は嫌いなのに彼のようにハッキリ言えなかった子もいたかもしれないと思うと、また更に落ち込みそうでしたが、一方で、喜んで一緒に歌ってくれた子供もいたことも確かだと思し、ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら、臨機応変に対応する事の大事さと難しさを感じました。

この日は、彼の本音を聞けた事と、それに応えられた事が、まずは良かったかなと思うことにしました。



慶應大学病院でSHJの活動が始まり1年が経とうとしています。慶應大学病院には小児病棟が2つありまして、各々月に1回、合わせて月2回の活動をしています。

私は今年の6月からアシスタントを担当しています。

アシスタントの仕事は、アーティストさんとの活動前の打ち合わせと病院ボランティア担当の方へのご案内、病棟の保育士さん看護師さんと参加希望状況の確認、そしてアーティストさんの活動中のサポートなどです。はじめは、このような事が未経験の私にできるのかとても不安でしたが、代表の松本さんや保育士さん達に助けていただきながら、今日に至っています。

病棟での活動は、プレイルームに集まるお子さん達から始まり、病室、ベッドサイドへと何って行きます。その日によって、参加されるお子さん達の年齢や人数がかなり異なりますし、プレイルームでは途中、お子さん達の出入りもあります。

それは、治療や入浴、院内学級など様々な事情があるからです。



アーティストの皆さんにとって、これらの事を踏まえた準備や活動は大変な作業と思いますが、皆さん即座にすなりとその場面に合わせた活動をされます。このさりげない心配りが本当に素晴らしく、いつも感心しています。

アートはもちろんのことですが、アーティストの皆さんの優しい心遣いがあるからこそSHJの活動が、子ども達や保護者の方々に安心して楽しんでいただけているのだと思います。

保育士さんに『プレイルームでずっと待っていた子が待ちくたびれて病室に戻ってしまいました』と言われたり、付き添いのお母様に『この日が来るのを何日も楽しみに待っていたんです』とお声をかけて頂くと、とても嬉しく思うと同時に責任も感じますが、子ども達の可愛い笑顔に何度も私自身が励まされ、勇気をもらっています。

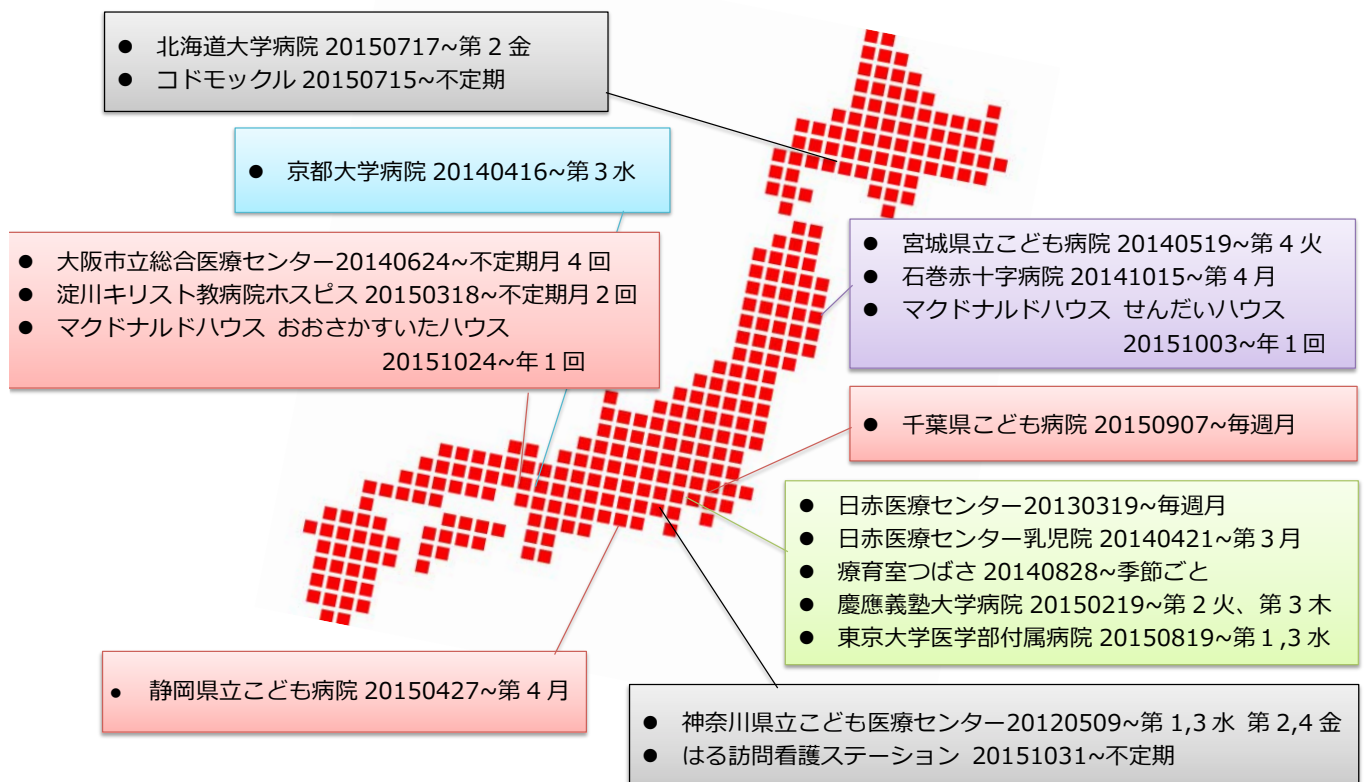
まだまだ力不足ではありますが、SHJの活動にご支援くださる皆様のお心を闘病中の子ども達に贈り届けて、たくさん笑顔になってもらえるよう、これからもアシスタントとして歩んでいきたいと思っています。

そして、いつもお忙しい中、あたたかく笑顔で私達を迎えてくださる慶應大学病院の皆様、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

● SHJ マップ (2016 年 3 月 1 日付)

皆様の温かなご支援はこんなに広範囲に！
これからも待っている子どもたちのところへ、
スマイリングホスピタルジャパンの輪はどんどん広がります。

● 病院・施設名 開始時期 活動日



●スマイリングホスピタルジャパン概要 (2016年3月1日現在)

名称	特定非営利活動法人スマイリング ホスピタル ジャパン (略称: SHJ)				
設立	任意団体として 2012年2月25日		法人設立 2012年12月25日		
所在地	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目3番15-308 電話/Fax: 03-4296-5692 その他連絡先: 090-8894-2640				
活動目的	入院闘病中の子どもたちが、わくわくするような楽しい時間を繰り返し持つことで、闘病意欲や生きる喜びを持ち続け、回復に向けての活力を得られるよう、QOLの向上に寄与することを目的とする。				
活動内容	美術、音楽、マジック等のプロの芸術家が小児病院の病棟、病室を訪問し、クラフトワークショップ、マジック、音楽会などを催す。子どもたちが活力や自信を取り戻せるように、作る、手品を覚える、一緒に歌う、など参加型の活動にする。見通しを持って楽しみにできるように、定期的な活動とする。 活動例: 2時間の訪問時間中、前半は病室を出られる子ども対象に病棟プレイルームにて集団の活動、後半は病室、病床にて活動可能な子どもと個別活動をする。				
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問 一人ひとりを大切に。 ・参加型活動 受け身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問 見通しを持って活動を楽しみにできるように。 ・本物のアート 質の高いクリエイティブな活動を。 				
活動場所	神奈川県立こども医療センター各病棟 神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設 重症心身障害児施設 日本赤十字医療センター小児病棟 京都大学医学部附属病院小児病棟 日本赤十字医療センター附属乳児院 宮城県立こども病院各病棟 石巻赤十字病院小児病棟 大阪市立総合医療センター各小児病棟 療育室つばさ 慶応義塾大学病院各小児病棟 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 静岡県立こども病院各病棟 北海道道立子ども総合医療・療育センター 北海道大学病院小児病棟 東京大学医学部附属病院各小児病棟 千葉県こども病院各病棟 ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだいハウス/おおさか すいたハウス はる訪問看護ステーション				
年間活動数	244 (2015年実績)		参加者数	延べ 5970 (2015年実績)	
役員	代表理事 松本 恵里	理事 高橋 精一	副代表理事 三原 典子	理事 谷口 幸路	監事 神津 理絵
地区 コーディネーター	北海道: 米澤倫子	仙台: 穴戸素子	石巻: 千葉淳子	千葉: 矢田美麗	
	京都: 田久朋寛	大阪: 西 純江	静岡: 鈴木知子	東京・神奈川: 松本恵里	
	統括コーディネーター: 三原 典子				
事務局 運営ボランティア	13名	アーティスト ボランティア	80名	活動アシスタント ボランティア	7名
正会員	15名	サポート会員	129名 7団体		
E-mail	info@smilinghpj.org				
ホームページ	http://www.smilinghpj.org				
銀行口座	ゆうちょ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号: 10090 番号: 74039541 みずほ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店: 浜田山支店 預金種目: 普通預金 口座番号: 1950697				
寄付	延べ 115 件				
協賛	(株) FCA ジャパン 日本歯科医師会 日本財団 在日イタリア商工会議所 FIT チャリティ・ラン 2015 他				

サポート会員、アーティスト・事務局・活動アシスタント・コーディネーターボランティア募集中！
詳しくはホームページをごらんください。

～昨年度を振り返って、そしてこれから～

この3か月を振り返ると、新たな支援団体が増えたことで、事業の拡大に向けての大きな支えを得ることができ、在宅訪問事業部門が始動の運びとなりました。退院後終末期をご家庭で過ごす子ども、または重い障がいと闘いながら生活する子ども達の日常が少しでも明るくなるようにと願いながら、SHJ アーティストは意気込みを新たにしています。現在、担当者を中心に、訪問看護ステーションより協力を得ながら、実態とニーズの把握に取り組んでいます。

今後ともスマイリングホスピタルジャパンの活動を支えてくださるよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

スマイリングホスピタルジャパンスタッフ一同